

Standard Program Packageのインストール手順(Linux)

以下の手順に従い、Standard Program Packageをインストールします。

※本手順は、Linux OS環境のみ必要です。

(1) rootユーザーで、対象機種上のLinuxにログインします。

(2) Red Hat Enterprise Linux 9でN8103-248/249/250/251/252/253使用時、
Starter Packを適用する前に以下のパッケージをインストールします。

`chkconfig, initscripts`

(3) ESMPRO/ServerAgentServiceがインストールされている場合は以下のコマンドで
ESMPRO/ServerAgentServiceのサービスを停止します。

引数に "stop" を指定して、ESMRestartコマンドを実行します。

`# /opt/nec/esmpro_sa/bin/ESMRestart stop`

※ESMRestartコマンドが存在しない場合、ESMPRO/ServerAgentServiceはインストールされていませので、サービスの停止は不要です。

(4) LinuxにStandard Program Packageをインストールします。

1. 光ディスクドライブに「1. Starter Pack DVDの作成」で作成したStarter Pack DVDをセットします。

2. マウントポイントを作成します。作成済みの場合は、本操作は不要です。

`# mkdir /media/cdrom`

3. Starter Pack DVDをマウントします。

`# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom`

4. packages 配下にある smartupdate を実行するため、/media/cdrom/packages/
ディレクトリへ移動します。

`# cd /media/cdrom/packages/`

5. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./clean-cache.sh
```

--> "Are you sure you want to delete SUM cache files?" の問い合わせ
には "y" を入力します。

--> "Press Enter to continue" の問い合わせにはEnterキーを押します。

```
# ./smartupdate --s --softwareonly --ignore_tpm --ignore_warnings  
--ilo_username XXXXXXXXXXXX --ilo_password YYYYYYYYYY
```

XXXXXXXXXXXX および YYYYYYYYYY には、iLO アカウント情報(ユーザー名、パスワード)
を入力してください。

XXXXXXXXXXXX : ユーザー名

YYYYYYYYYYY : パスワード

デフォルトのユーザー名、パスワードは、本体装置に取り付けられているスライドタグに記載されて
います。

6. libbnxt_reパッケージがインストールされている場合は、以下のコマンドでアンインストールしま
す。

```
# rpm -e libbnxt_re
```

7. OS を再起動します。

```
# reboot
```

- (5) Red Hat Enterprise Linux 9.6でN8104-208/212使用時、「[Linux ドライバ情報一覧](#)」より
iceドライバー バージョン2.4.5を入手してアップデートします。

以上で作業は終了です。